

教員紹介

看護学専修 専門看護師(CNS)プログラムを含む

研究科委員



太田 喜久子
教授

専門
■高齢者看護学
研究キーワード
■高齢者の健康
■認知症高齢者ケア
■高齢者看護の質



金子 仁子
教授

専門
■地域看護学・地区
活動展開
研究キーワード
■ヘルスプロモーション
■地域看護管理
■児童虐待予防



小松 浩子
教授

専門
■がん看護学・緩和ケア、
慢性看護
研究キーワード
■乳がん看護
■ケアの質評価
■認知教育的アプローチ



近藤 好枝
教授

専門
■新生児看護学、母性
看護・助産学
研究キーワード
■新生児医療
■超低出生体重児
■介入研究



**戈木クレイグビル
滋子**
教授

専門
■小児看護学
研究キーワード
■質的研究法
■ターミナルケア
■インフォームド・コンセント



武田 祐子
教授

専門
■がん遺伝看護の実践・
研究
研究キーワード
■家族性腫瘍
■遺伝看護
■がん看護



野末 聖香
教授

専門
■リエゾン精神看護
研究キーワード
■リエゾン精神看護
■専門看護師
■介入プロトコール



宮脇 美保子
教授

専門
■基礎看護学
研究キーワード
■看護倫理
■ケアリング
■キャリア

専任教員

原 礼子 教授 (在宅看護・家族看護)
藤井 千枝子 教授 (基礎看護学)
小池 智子 准教授 (看護管理・看護政策)

兼任教員

伊東 大介 医学部 専任講師
今村 知世 医学部 専任講師(有期)
岩田 敏 医学部 教授
内田 裕之 医学部 専任講師
大谷 壽一 薬学部 教授
大家 基嗣 医学部 教授
岡本 真一郎 医学部 教授
加藤 真三 看護医療学部 教授
小林 正弘 看護医療学部 教授
小山 友里江 看護医療学部 准教授
佐谷 秀行 医学部 教授
嶋田 博之 医学部 助教
標 美奈子 看護医療学部 准教授
白波瀬 丈一郎 医学部 特任准教授
副島 研造 医学部 教授(有期)
高石 官均 医学部 准教授
谷川原 祐介 医学部 教授
田淵 肇 医学部 専任講師
辻 哲也 医学部 准教授
辻 恵子 看護医療学部 准教授
橋口 さおり 医学部 専任講師
濱田 庸子 環境情報学部 教授
林田 健太郎 医学部 専任講師(有期)
福井 里佳 看護医療学部 准教授
福田 紀子 看護医療学部 准教授
藤澤 大介 医学部 専任講師
船越 建 医学部 専任講師(有期)
増田 真也 看護医療学部 准教授
宮川 祥子 看護医療学部 准教授
門川 俊明 医学部 教授(有期)
矢ヶ崎 香 看護医療学部 准教授
安田 恵美子 看護医療学部 准教授

講師(非常勤)

宇佐美 しおり 熊本大学 大学院生命科学研究部 教授
大荷 満生 杏林大学 医学部 准教授
岡田 佳詠 筑波大学 医学医療系 准教授
加藤 忠相 株式会社あおいけあ 代表取締役
桑田 美代子 青梅慶友病院 看護介護開発室長
小山 珠美 JA神奈川県厚生連伊勢原協同病院
小山 真理子 日本赤十字広島看護大学 学長
齋藤 訓子 公益社団法人日本看護協会 常任理事
酒井 一博 公益財団法人 大原記念労働科学研究所 所長/常務理事
菅原 峰子 北里大学 看護学部 講師
田倉 智之 大阪大学大学院医学研究科 教授
樽井 正義 慶應義塾大学 名誉教授
寺嶋 毅 東京歯科大学 市川総合病院 呼吸器内科
仁木 和久 独立法人産業技術総合研究所 主任研究員
能知 正博 東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース 教授
樋山 光教 独立行政法人国立病院機構東京医療センター 精神科医長
福嶋 好重 横浜市立市民病院 精神看護専門看護師
堀越 由紀子 東海大学 健康科学部社会福祉学科/大学院健康科学研究科 教授
増谷 順子 首都大学東京 健康福祉学部看護学科 助教
松田 美紀子 慶應義塾大学病院 看護部長
森田 夏実 東京工科大学 医療保健学部看護学科 教授
山下 由香 株式会社HRS 東太田リハビリ訪問看護ステーション
山本 則子 東京大学 大学院医学系研究科 教授

●看護学専修には以下の分野が設置されています。

母性看護分野、小児看護分野、老年看護分野、老年看護分野(CNSプログラム)、
基礎看護分野、がん看護分野、がん看護分野(CNSプログラム)、成人看護分野、
精神看護分野、精神看護分野(CNSプログラム)、在宅・家族看護分野、地域看護分野

(2016.4.1 現在)

医療マネジメント専修 公衆衛生プログラムを含む

研究科委員



鎌倉 光宏
教授

専門
■感染症学
研究キーワード
■公衆衛生学
■HIV/AIDS
■国際保健



前田 正一
教授

専門
■医事法学
研究キーワード
■インフォームド・コンセント
■医療安全管理・医療事故対応
■臨床倫理、研究倫理



山内 慶太
教授

専門
■医療政策・管理学
研究キーワード
■精神医療
■産業精神保健
■診療報酬制度



渡辺 美智子
教授

専門
■統計科学・多変量解析
研究キーワード
■潜在構造分析
■因果分析
■統計教育

客員教授

高橋 武則 目白大学経営学部/大学院経営学研究科 教授

兼任教員

会田 一雄 総合政策学部 教授
梅津 光弘 商学部 准教授
大藪 毅 経営管理研究科 専任講師
河井 啓希 経済学部 教授
佐渡 充洋 医学部 専任講師
吉村 公雄 医学部 専任講師

講師(非常勤)

秋根 良英 医療法人社団ほつ 理事長
池上 直己 慶應義塾大学 名誉教授
池田 俊也 国際医療福祉大学 薬学部/大学院薬学・薬科学研究科 教授
稲垣 中 青山学院大学 国際政治経済学部 教授
江面 美祐紀 ファイザー株式会社 経営企画管理本部医療政策担当部長
尾形 裕也 東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授
河北 博文 社会医療法人河北医療財団 理事長
河村 隆之 三井住友海上火災保険株式会社 商品本部部長
小林 米幸 医療法人社団小林国際クリニック理事長/院長
坂巻 弘之 東京理科大学 経営学部/大学院経営学研究科 教授
下妻 晃二郎 立命館大学生命科学部/大学院生命科学研究所 教授
菅原 浩幸 公益財団法人日本医療機能評価機構統括調整役 EBM医療情報部部長
高橋 由利子 国家公務員共済組合連合会 九段坂病院
玉井 真澄 株式会社ソラスト 東日本ブロック 執行役員ブロック長
齋巢 賢一 がん・感染症センター都立駒込病院 院長
平山 晃二 平和国際特許事務所 弁理士

スポーツマネジメント専修 公衆衛生プログラムを含む

研究科委員



海老塚 修
教授(有期)

専門
■スポーツマネジメント
研究キーワード
■マーケティング
■コミュニケーション
■スポーツの価値



大谷 俊郎
教授

専門
■スポーツ医学
研究キーワード
■スポーツ医学
■バイオメカニクス
■膝関節



武林 亨
教授

専門
■公衆衛生学
研究キーワード
■疫学
■予防医学
■地域保健・産業保健



石田 浩之
准教授

専門
■スポーツ医学
研究キーワード
■運動療法
■予防医学
■健康増進



小熊 祐子
准教授

専門
■長期的な健康増進・維持について
研究キーワード
■予防医学
■運動疫学
■スポーツ医学



佐野 毅彦
准教授

専門
■スポーツビジネス
研究キーワード
■スポーツクラブ
■経済評価
■楽しさ

客員教授

竹田 恒和 国際オリンピック委員会(IOC)委員/公益財団法人日本オリンピック委員会会長

兼任教員

新井 康通 医学部 専任講師
入江 潤一郎 医学部 専任講師(有期)
岡村 智教 医学部 教授(有期)
勝川 史憲 スポーツ医学研究センター 教授
桑原 和代 医学部 助教(有期)
清家 篤 慶應義塾長/商学部 教授
高山 美智代 医学部 専任講師(有期)
高山 緑 理工学部 教授
山田 篤裕 経済学部 教授

講師(非常勤)

石川 善樹 株式会社キャンサーキャン 共同創業者
岡田 哲 大成建設株式会社ソリューション営業本部 ビジネスソリューション部
兼本 卓明 外資系エンターテインメント企業在籍
神谷 宗之介 神谷法律事務所 弁護士
齋藤 義信 健康マネジメント研究科特任講師
阪田 祐介 ケンブリッジテクノロジーパートナーズ株式会社
芝山 哲也 大成建設株式会社 常務執行役員 ソリューション営業本部長兼オリンピック担当
関 勝 神奈川県立保健福祉大学 教授/人間総合専門基礎担当学部長
楢川 芳之 京都学園大学 教育開発センター 教授
高田 和子 国立健康・栄養研究所 栄養教育研究部
谷山 宏典 ストラテックス・パートナーズ CEO
古屋 佐知 株式会社デサント デサント統括部 新規事業開発課
増田 元長 HRBC株式会社 コンサルタント
盛田 潤 大成建設株式会社ソリューション営業本部
山本 真司 株式会社山本真司事務所 代表取締役

共通

兼任教員

東 宏一郎 医学部 専任講師(有期)
石井 誠 医学部 専任講師(有期)
岩澤 聡子 医学部 専任講師(有期)
大前 和幸 医学部 教授
神田 武志 保健管理センター 専任講師
権丈 善一 商学部 教授
新庄 琢磨 医学部 助教
杉山 大典 医学部 専任講師
竹内 文乃 医学部 助教(有期)
中野 真規子 医学部 専任講師
名倉 武雄 医学部 特任准教授(非常勤)
橋本 健史 スポーツ医学研究センター 准教授
原田 成 医学部 助教(有期)
藤田 康範 経済学部 教授
真鍋 知宏 スポーツ医学研究センター 専任講師

講師(非常勤)

赤堀 美和子 慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター 事務員(主務)
稲田 俊也 公益財団法人神経研究所 附属晴和病院院長
犬伏 秀生 株式会社日本科学技術研修所
井下 千子子 桜美林大学大学院 心理・教育学系 教授
大内 講一 福島県立医科大学看護学部非常勤講師
大坪 宏至 東洋大学経営学部 教授
齋藤 智也 厚生労働技官
坂元 昇 川崎市健康福祉局 医務監
柴原 宜幸 開智国際大学 リベラルアーツ学部 教授
高橋 邦彦 名古屋大学大学院医学研究科 准教授
福吉 潤 株式会社キャンサーキャン 代表取締役

指導教員

本研究科では、学生が入学前の背景に左右されず柔軟に専門領域を選択できるようにするため、入学時には指導教員を決定せず、1年次春学期には主として研究のための基盤づくりを主目的とする科目を履修した後、1年次秋学期より指導教員のもとで研究の方向性を固めていくことになります。

(2016.4.1 現在)

看護

養成する人材像

看護ケアの新しいあり方を開発・構築・実践できる人材として、深遠な知識と卓越した技術、柔軟な発想をもった実践家と、学際的で豊かな知識と高い倫理性に裏打ちされ、既存の枠組みにとどまらない構想力をもった教育者・研究者の養成を目指しています。

専門分野の構成

看護学の専門性に対応するため、3つの領域に9つの分野が設置され、分野別に実践家、研究者、教育者の育成が行われています。

ライフステージケア領域

- 母性看護分野
- 小児看護分野
- 老年看護分野 (CNSプログラム併設)

クリニカルケア領域

- 基礎看護分野
- 成人看護分野
- 精神看護分野 (CNSプログラム併設)
- がん看護分野 (CNSプログラム併設)

コミュニティケア領域

- 在宅・家族看護分野
- 地域看護分野

■ 専門看護師 (Certified Nurse Specialist : CNS) プログラム

〈概要〉

CNSプログラムは老年看護分野、がん看護分野、精神看護分野が置かれており、日本看護系大学協議会による専門看護師教育課程基準を満たす教育課程として組み立てられています。CNSプログラムでは、修士論文に代わり課題研究論文 (CNS実習) を作成することになります。学生は、実習施設と担当教員の緊密な連携のもと実習指導を受けたうえで、実践的研究課題を取り上げ、講義・演習科目で培われた理論知のうえに立ち、CNS実習における実践知をふまえた総体的表現としての研究に取り組みます。

〈修了要件〉

2年以上在学し(休学期間を除く)、所定の授業科目を46単位以上を修得し、課題研究論文 (CNS) の審査および最終試験に合格すること。

■導入科目

健康マネジメント概論	社会保障論	ヘルスケア倫理学	高齢社会デザイン論
臨床入門	経営戦略論		

■分析手法科目

リテラシー系	生物統計学・疫学系	データサイエンス系	質的研究系
基礎疫学	基礎生物統計Ⅱ	クオリティマネジメント	質的研究法
基礎生物統計Ⅰ	応用生物統計学	サービスデータサイエンス	
社会調査法	疫学研究の統計的方法	多変量因果解析	
	ヘルス情報管理論		
	臨床試験方法論		

■専門科目

共通分野A	共通分野B	母性看護分野	小児看護分野
看護理論	臨床薬理学	母性看護学	小児看護学
看護研究	臨床病態学	母性看護学方法論Ⅰ	小児看護学方法論Ⅰ
看護倫理	フィジカルアセスメント	母性看護学方法論Ⅱ	小児看護学方法論Ⅱ
看護政策論		母性看護学演習Ⅰ	小児看護学演習Ⅰ
看護教育論		母性看護学演習Ⅱ	小児看護学演習Ⅱ
看護管理論			
看護情報学			
コンサルテーション論			
老年看護分野	基礎看護分野	成人看護分野	精神看護分野
老年看護論	基礎看護学	成人看護学	精神看護論
老年期疾患治療論	基礎看護技術方法論Ⅰ	成人看護学方法論Ⅰ	精神の健康生活評価法
高齢者・家族援助論	基礎看護技術方法論Ⅱ	成人看護学方法論Ⅱ	治療的精神看護介入法
老年サポートシステム・制度論	基礎看護学演習Ⅰ	成人看護学演習Ⅰ	リエゾン精神看護論
高齢者健康生活評価法	基礎看護学演習Ⅱ	成人看護学演習Ⅱ	精神保健医療福祉制度論
老年看護実践演習			精神科治療技法
認知症高齢者看護演習			精神看護介入演習
老年専門看護実習			精神専門看護実習
がん看護分野	在宅・家族看護分野	地域看護分野	
がん看護論	在宅・家族看護論	地域看護学	
がん看護援助論	在宅・家族看護方法論Ⅰ	地域看護活動方法論Ⅰ	
がん治療看護論	在宅・家族看護方法論Ⅱ	地域看護活動方法論Ⅱ	
がん病態生理学	在宅・家族看護学演習Ⅰ	地域看護活動計画・評価論Ⅰ	
がん遺伝看護論	在宅・家族看護学演習Ⅱ	地域看護活動計画・評価論Ⅱ	
がん薬物療法看護論			
緩和ケア演習			
がん専門看護実習			

■特別研究科目

特別研究

修了要件

2年以上在学し(休学期間を除く)、所定の授業科目を30単位以上修得し、修士論文の審査および最終試験に合格すること。